

■ 即日・中間覆土不要

本薬剤は、下記表のような即日覆土および中間覆土※と同様の効果を有する。

覆土の機能	覆土の種類		覆土代替材 HR の効果
	即日	中間	
粉塵飛散・流出を防止	○		○
害虫発生を抑制	○		○
悪臭を抑制	○		○
景観向上	○	○	
運搬車道路の地盤確保		○	○
雨水浸透抑制		○	○

※ 中間覆土（参考）
 廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令
 中間覆土は、埋立廃棄物の厚さ約3mごとに約
 50cmの土砂で覆うよう定められている。
 但し熱しゃく減量15%以下に焼却したものは除く。
 しかし、廃棄物飛散や悪臭対策等のために実際には
 覆土を行っている。

■ 製品特性

素材	主成分	高分子ポリマー
物性	色	白色乳状液体・緑色乳状液体
	pH 数値	7.5
	粘度	1,200~3,500mpa*s(cp)
	比重数値	1.04
安全性	重金属	不検出
	PRTR 法	該当なし
	安全性データ	GLP 適合 一般財団法人化学物質評価研究機構 (CERI) にて 生態毒性試験を実施 *OECD テストガイドラインに準拠
荷姿	荷姿	ポリエチレン製ブロー容器 1,000L/20L
経済性	推奨希釈率	水 85% に対し HR15%
	推奨散布量	1L(希釈液)/m ²
	散布回数	1回



1,000L タンク



20L タンク

■ 安全性

一般財団法人化学物質評価研究機構にて、
 生態毒性試験を実施。
 藻類・ミジンコ・ヒメダカの3生物に
 影響を及ぼさないと判断された。



生態毒性試験総括報告書

※その他、重金属検査、組成分析等の
 安全性に関する試験を実施している。

国土交通省新技術登録システム NETIS登録製品
 登録番号：QS-230022-A

覆土代替材

Alternative agent to cover soil

HR



最終処分場の延命化
 汚水処理の負担軽減

(某廃棄物最終処分場)

デモカーによる試験施工も
 承っております。

お気軽にお問い合わせください。



【お問い合わせ先】

株式会社 吉浦
 福岡県福岡市早良区祖原 16-16-202

TEL:(092)832-3237

MAIL : info@yoshiura-ltd.com

URL : https://www.yoshiura-ltd.com



掲載内容の一部または全部を事前の許諾なしに、転載または複製することを固くお断り致します。
 掲載内容は、改良、改善のため予告なく変更することがあります。

覆土代替材 HR

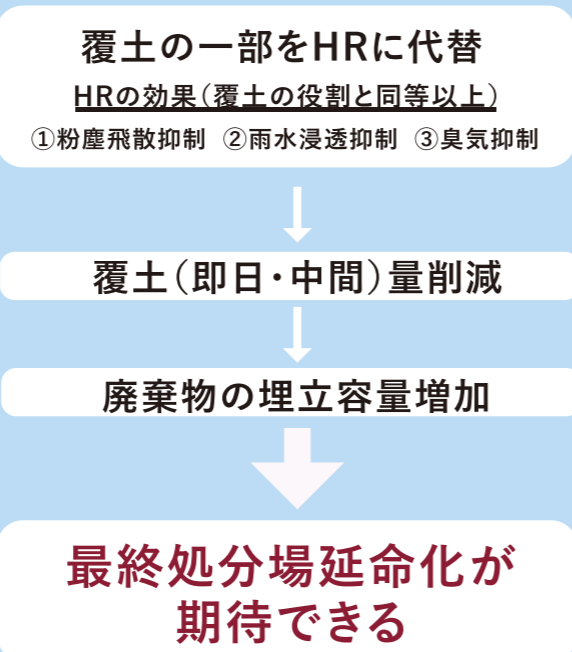
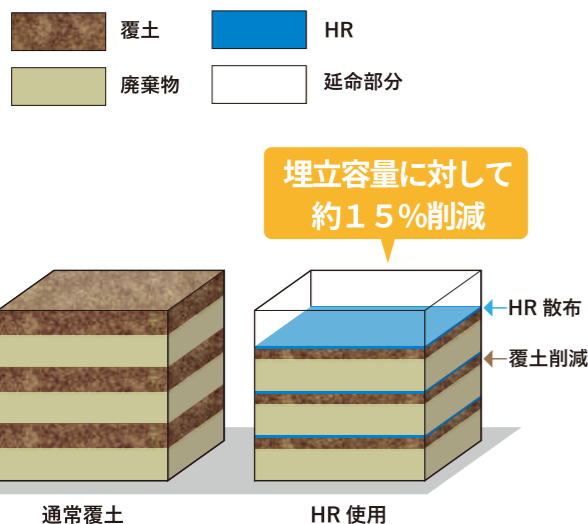


HRは液状の薬剤で、水で希釈し使用します。希釈液を散布した地表は乾燥すると固化し、一定の浸透性を保持しつつ、高い耐水性、耐風性を有します。弊社は福岡大学との共同研究*により、これらの特徴が覆土の役割である「①粉塵飛散抑制②雨水浸透抑制③臭気抑制」と同等以上の効果を発揮し、HRが覆土代替材として機能することを確認しました。

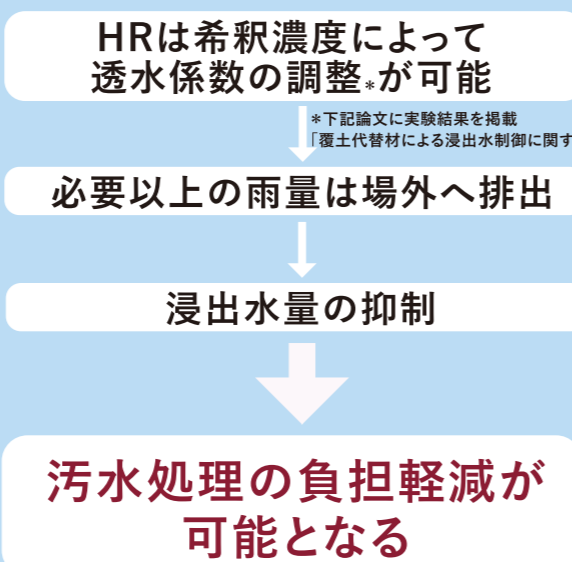
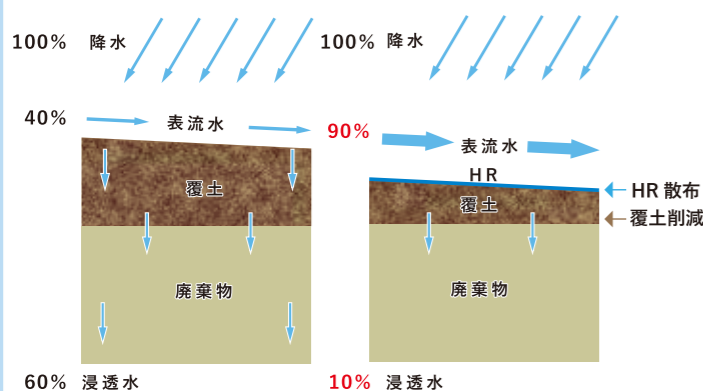
液状であるHRは限りある処分場容量を最大限まで利用することを可能にし、多くの処分場で課題となっている延命化や、雨水の浸透抑制などの問題に大きく貢献することが期待できます。

*第44回全国都市清掃研究・事例発表会にて発表
「覆土代替材による覆土及び焼却残渣の飛散防止効果の確認実験」

覆土（即日・中間）の削減



雨水の浸透調整



粉塵飛散抑制

臭気抑制

害虫発生抑制

簡単施工

安全性

さまざまな効果が期待できます。

散布面の様子

模擬埋立試験ピットに対し希釈濃度15%のHRを1㎡あたり1.2L散布。散布した地表は約10～15mmの固化層を形成する。



*固化層の厚みは散布対象によって変化する。

散布実績

廃棄物最終処分場（石川県） 浸透雨水調整を目的とした場内雨水側溝への散布



廃棄物最終処分場（茨城県） 覆土削減、場内の粉塵飛散防止を目的とした埋立場、走路への散布



散布機材

「1時間当たりの散布面積目安」は散布準備に要する時間も含めて算出。

- 背負噴霧器※容量20L (1時間当たりの散布面積目安: 120㎡)
- 台車付き噴霧器※容量50L (1時間当たりの散布面積目安: 200㎡)
- 動力噴霧機※容量300L (1時間当たりの散布面積目安: 600㎡)



導入までの流れ

STEP 01 申し込み

お電話、メールにてお問い合わせください。

STEP 02 ヒアリング・試験計画立案

訪問や WEB 面談にてヒアリングを行い、ご希望に沿った試験計画をご提案いたします。

STEP 03 試験施工

無料で現場（処分場）や研究施設にて試験を実施、結果をご報告いたします。

STEP 04 導入検討

導入に向けた資料やお見積を提出いたします。